

シャイン 073号

さらなる挑戦に向けての一步

和知 康子さん

会社名：一般企業(派遣社員)

資格等：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

現在、私は一般企業の派遣社員として働いています。自分のやりたかった設計の分野で、設計補助の職務に就いて3か月が過ぎました。もともと学生の頃から「人の役に立ちたい」と思っていました。具体的には何をやりたいのかがわからず探していました。社会人になって10年目頃に、自分自身がメンタル不調を患ったことで、メンタルヘルスや心理学について興味を湧きました。また、カウンセリングを実際に受けたときには、「傾聴」してもらうことの必要性に気づきました。そのような時、メンタルヘルスや心理学、傾聴技法が学べる産業カウンセラー養成講座を知り、「これだ!」と思い、受講を決めました。

養成講座の受講中には、「人の役に立つ」ということや自分の成長を実感することができ、学ぶ楽しさを知りました。また、人の話を聴く姿勢が身につき、コミュニケーションが楽になりました。その例として、前職のコールセンターで勤務していた時に自分がお客様の話をじっくりと聴けるようになったことで、お客様から感謝されることが多くなりました。今の職場では、さまざまな世代の方たちと仕事をしているため、いっそう傾聴力を活かしてコミュニケーション力の幅を広げているところです。

【資格取得後の活動状況】

産業カウンセラー取得後の具体的な活動としてはまだ少ない状況ですが、東関東支部で開催されている「cafeふらっと」に参加し、情報収集を行うとともに会員の方々の経験談等を聞いて参考にしています。また、メン

タルヘルスケアに関する学びを続けており、「メンタルヘルスケアマネジメントⅡ種」の勉強と試験の合格を目指しています。

今後は、さらに産業カウンセラーの資格を活かして、次のようなことに挑戦していきたいです。

1つ目は、「EAPメンタルヘルスカウンセラー」の資格取得を目指すことです。以前、人事労務の仕事に携わり、従業員のメンタルヘルスケアについて考えさせられたことがありました。「産業カウンセラー」にプラスαのスキルを身につけることで、メンタルヘルスケアに関する知見を深め、活躍の場を広げていくことができると考えています。

2つ目は、国家資格である「キャリアコンサルタント」の資格取得を目指すことです。私自身、さまざまな職場を経験してきたことで、キャリア形成については強い関心を持っています。特に、若年層に向けてのキャリアコンサルティングに興味があるため、キャリアコンサルタントの資格を取得して学びを深めたいと考えています。

3つ目は、派遣社員としての職歴が長いので、自身の経験を活かして、派遣社員に向けたカウンセラー業務を行っていくことです。

現時点では、これらの目標達成を目指していますが、新しい経験や学びに応じてその都度、自分自身を成長させていきたいです。そのためにも、支部の会員部の活動に参加してネットワークを広げたり、支部の研修に参加してスキルを磨いたりして、チャンスに備えたいと考えています。